

ローツェの好決算をどう読むか？

横山 泰史

業種:日本株ストラテジー

米国安で日本株は下落スタート

現地11日の米国市場では、NYダウが前日比▼413ドル(▼1.1%)、ナスダックが▼299ポイント(▼2.1%)と下落した。今日の東京市場でも米国株安が嫌気されて日経平均は前場一時は前日比で▼200円以上の下落となっている(9時30分現在)。

ウェーハ搬送ロボットを手掛けるローツェが大幅高

昨日の米国市場ではハイテク中心に売られ、SOX指数は前日比▼2.0%の下落となり、半導体製造装置で最大手である米アプライドマテリアルズの株価は前日比▼3.1%の下落であった。この動きに反応するように今日の東京市場では東京エレクトロン、アドバンテストなどが下落している。一方で、昨日に決算を発表したローツェの株価が前日比で10%以上の上昇となっている(9時40分現在)。ローツェの上昇は新年度の会社予想の営業利益の見通しが前期比で+56%であることが好感されている。ローツェは半導体の製造現場でウェーハなどを搬送するロボットの製造などを手掛ける会社だが、業績は半導体生産の設備投資の影響を大きく受ける。足元では、半導体製造会社は半導体不足に対応するために積極的な設備能力の増強投資を行っているが、この恩恵が新年度の見通しに反映されている。大幅増益となるローツェの新年度の見通しは、何もローツェに限った話ではなく、半導体業界全体の動きを表しているといってもおかしくないだろう。それだけ、半導体製造装置業界が置かれている現在の状況は活況である。

半導体製造装置は日米で大きく異なるだろう

半導体製造装置の株価は短期ではグローバルで連動して動く傾向が強い。半導体がグローバルで事業展開される産業であることを考えれば当然だろう。そうしたなかで、技術によって、業績に差が出ることから、中長期の株価には差が出る。日米の半導体製造装置が置かれている状況を比較すると、今の日本の半導体製造装置業界は円安ドル高といった未曾有の追い風が吹いている。多くの日本の半導体製造装置メーカーは円建てで取引をしているため、為替による円安メリットは発生し難いが、取引先に対してより魅力的な価格を提示できることによりライバルに対して優位なポジションにある。このことから、市場シェアの拡大が期待される。ドル高に苦しむ米国の半導体製造装置企業と円安の恩恵を受ける日本の半導体企業の株価は分けて考える必要性が高いといえよう。

東京市場マーケットデータ

2022/4/11 現在

日経平均	2万6821円
プライム売買代金	2兆5014億円
プライム時価総額	680兆5131億円
日経平均予想PER	12.9倍
日経平均PBR	1.2倍
日経平均配当利回り	2.3%

出所: Quick

日経平均パフォーマンス

年初来高値	2万9388円	2022年01月05日
年初来安値	2万4681円	2022年03月09日

出所: Quick

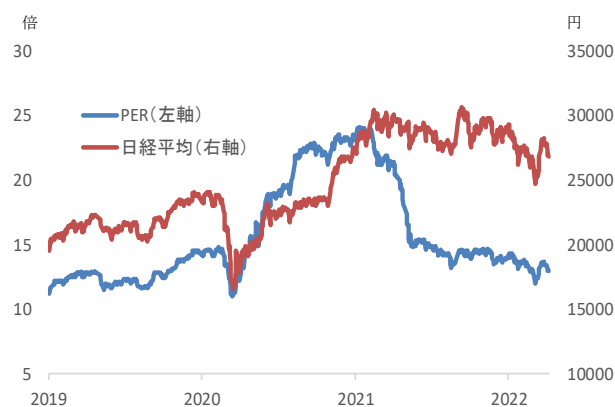
国内株式売買代金ランキング

2022/4/11 現在

	株価前日比
1 ソフトバンクグループ	▼2.6%
2 レーザーテック	▼2.8%
3 ソニーグループ	▼3.9%
4 トヨタ	0.2%
5 日本郵船	0.7%
6 東京電力HD	16.2%
7 東京エレクトロン	▼0.6%
8 ファーストリテイリング	▼2.7%
9 三菱UFJHD	2.5%
10 武田薬品	0.7%

出所: Quick、アイザワ証券作成

日経平均と予想PERの推移



出所: Quick

金融商品取引法に基づく表示事項

■本資料をお客様にご提供する金融商品取引業者名等

商号等：アイザワ証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 3283 号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会

当社が契約する特定第一種金融商品取引業務に係る指定紛争解決機関：

特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター（略称：FINMAC）

株式の主なリスク

株式は株価の変動等により、損失が生じるおそれがあります。お取引の際は、契約締結前交付書面をよくお読み下さい。

お客様にご負担いただく手数料等について

国内株式は、取引口座に応じて以下の委託手数料（税込）をいただきます。

対面口座：約定代金に対し、最大 1.265%（最大 149,875 円、2,750 円に満たない場合は 2,750 円）

インターネット口座「ブルートレード」：インターネット発注 最大 1,650 円

コールセンター発注 約定代金が 55 万円以下の場合 1,650 円、

約定代金が 55 万円超 3,000 万円以下の場合 3,300 円

コンサルネット発注 約定代金に対し、最大 1.265%（最大 149,875 円、2,750 円に満たない場合は 2,750 円）

アイザワ証券 免責事項

本資料は証券投資の参考となる情報の提供を目的としたものです。投資に関する最終決定は、お客様ご自身による判断でお決めください。本資料は企業取材等に基づき作成していますが、その正確性・完全性を全面的に保証するものではありません。結論は作成時点での執筆者による予測・判断の集約であり、その後の状況変化に応じて予告なく変更することがあります。執筆担当者または弊社と本レポートの対象企業との間には、重大な利益相反の関係はありません。このレポートの権利は弊社に帰属しており、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

